



君の世界に芽生えるものは

くおんじゅく

久遠塾

vol. 30



久遠塾 ☎ 080-2182-1379 13:00~21:00
メールアドレス shiranuka.kuon@gmail.com
HP <https://kuon-jukulocalinfojp.amebaownd.com>

久遠塾塾長



むかい ひろのぶ
向井 啓暢

新塾長就任あいさつ

9月16日から久遠塾に塾長として勤務している向井啓暢と申します。教科は、地歴公民を中心に担当します。高校までは福岡市で過ごし、明治大学・明治大学大学院（政治経済学研究科）を卒業しました。大学院卒業後は、東京都・神奈川県・茨城県などで塾や予備校、高等学校に勤めていました。

塾や予備校、高等学校では一貫して進路指導を担当してきたので、進路関係についてはかなり精通しているつもりです。久遠塾では現在、生徒の通常の学習支援だけでなく、公務員試験や就職活動の支援、志望理由書の作成、大学進学を希望する生徒の入試対策も行っています。

白糠高校では11月24日から後期中間考査が行われるため、11月20日（土）と21日（日）、23日の祝日は、9時から16時30分まで定期考査前サポートを行いました。

また、新しい試みとして久遠塾の中に「しらぬかの良さを見つげ隊」（以下、「見つけ隊」）を立ち上げました。

見つけ隊では、身の回りの何気ない疑問を徹底して調べて、考察するという活動をしています。

現在の隊員は1年生が4人です。ある日、隊員の一人が「炭火と薪火ではどちらがおいしいのだろうか」という疑問を持ちました。そこで見つけ隊では調査をすることとし、実際に炭火や薪火で肉を焼いて両者を比較することにしました。7人に試食してもらったところ、炭火の方がおいしいが3人、薪火が

3人、両方が1人となり、結果は完全に分かれました。しかし「炭火がおいしい」と言った生徒も「薪火もなかなかおいしかった」と言っており、甲乙つけがたかったようです。こうした取り組みは進路を考えるきっかけにもなりますし、環境問題を考えるきっかけにもなります。私は白糠高校の生徒たちには、このような疑問をどんどんぶつけてほしいと思っています。

さて、久遠塾が白糠高校の生徒に広く受け入れられるようになったこともあり、だんだんと一定数の生徒が勉強しに来るようになりました。中には昼休みに久遠塾へ来て、学習する生徒も出てくるようになってきました。とてもいい傾向だと思っています。これからも生徒はもちろん、町民の皆さんからも支持を得られるよう頑張ります。

私心がけていること

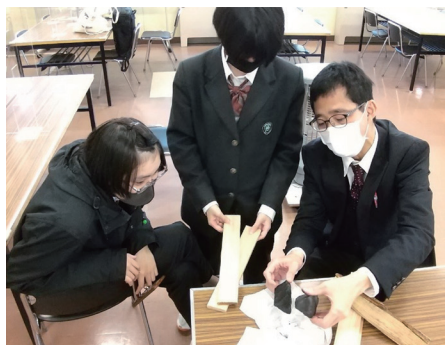
生徒に接するとき私心がけていることは「生徒に敬意を払う」ということです。

生徒の価値観を否定しない。好きなモノを否定しない。考えて結論を出したことを否定しないとい

うことです。

生徒が考えたことも、大人から見ると「もったこうした方がいい」というものがあるかもしれませんが。けれども生徒たちが考えて結論を出して「こうしたい」と思うことは、最大限に尊重したいと思います。「見つけ隊」の活動でもネーミングや活動の日程などは生徒に決めてもらっています。そして生徒が白糠高校校訓の「自立実践」の精神に基づいて行動し、結果を出せるように支援していきたいと思えます。

最後に町民の皆さんにお願いです。もし、白糠高校の生徒が取材などで訪れた際には、温かくご指導くださればありがたいです。どうぞよろしく願います。



針葉樹と広葉樹はどちらが木炭に適しているのかを生徒に説明しているところです。